

令和5年度四国本部徳島例会

四国本部 事業委員

大村 史朗

OOMURA Shirou

四国建設コンサルタント(株)



1. セミナーの概要

2023年12月1日(金)、徳島市阿波観光ホテルにおいて、令和5年度四国本部徳島例会として第91回CPDセミナー・公開講座・防災セミナー・修習技術者支援セミナー及び懇親会を、また翌2日(土)、兵庫県淡路市の北淡震災記念公園において、見学会を開催しました。

セミナー54名(うちWeb参加1名)、懇親会38名、見学会7名のご参加を頂きました。

表1 プログラム

〈1日目〉

1. 開会挨拶(13:30~13:40)

(公社)日本技術士会四国本部 本部長 天羽 誠二

2. CPDセミナー(13:40~14:40)

演題:『<ゾミア>の地球環境学:

四国山地の地質・環境・歴史』

講師:徳島大学大学院 社会産業理工学研究部
准教授 内藤 直樹 氏

3. 公開講座(14:50~15:50)

演題:『阿波踊りの魅力』

講師:阿波踊り保存協会 事務局長 森田 茂 氏

4. 防災セミナー(16:00~17:00)

演題:『地域を支える建設業BCPの現状と課題』

講師:徳島大学環境防災研究センター
講師 湯浅 恭史 氏

5. 修習技術者支援セミナー(17:10~18:10)

演題:『技術士試験と修習のあり方について』

講師:四国本部修習技術者支援委員 一宮 礼人 氏

6. 懇親会(18:20~20:20)

- | | | |
|---------|-----------|-------|
| (1)開会挨拶 | 四国本部総務委員長 | 豊崎 裕司 |
| (2)乾杯 | 四国本部事業委員長 | 谷脇 準藏 |
| (3)中締め | 四国本部会計幹事 | 菊池 昭宏 |

〈2日目〉

7. 見学会(10:15~11:15)

- | | | |
|---------|----------|-------|
| (1)開会挨拶 | 四国本部事業委員 | 山村 猛 |
| (2)見学 | | |
| (3)閉会挨拶 | 四国本部事業委員 | 大村 史朗 |

2. 開会挨拶 天羽本部長

四国本部天羽本部長の開会挨拶で始まりました。ご挨拶の中では、日本技術士会の最新の動向についてもお話いただきました。



写真1 天羽本部長の開会挨拶

3. CPD セミナー 内藤 直樹氏

公開講座は、徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 准教授 内藤 直樹氏よりご講演を頂きました。

ゾミアとは、「チベット山脈や東アジアの山地といった高地で、平地で発展した国家の影響から逃れた人々が独自の文化圏を創出し、国家に抗する社会という側面ももつ地域」を指し、ここから「ゾミア的空間」というものを定義し、社会や文化を「大地」からみなおす研究を行っていらっしゃる。それを、ご自身がフィールドとされ、かつご自身が世界農業遺産認定に向けた取り組みに関わられた、徳島県にし阿波地域の「にし阿波地域の傾斜地農耕システム」をケーススタディーとして、わかりやすく示されました。

当地では、集落が大規模な地すべり跡地に形成されており、そのため土壌流亡を防ぐ農具や、地形・地質を活かしたシコクビエやタカキビなど多様な在来品種の生産、それに伴う景観形成など、

地形・地質に適応した暮らしと文化が育まれていたこと、特に葉たばこ栽培については、80年近く「阿波葉」として日本全国に流通していたほど、この傾斜地農耕システムにより産業として振興していたことを紹介されました。

葉たばこ栽培の衰退後は作物転換に失敗したものの、裏作の雑穀栽培は残され、この部分が世界農業遺産やスローフードに評価され、現在の外国人観光客の増加や修学旅行・教育旅行の呼び込み等のツーリズム進展に繋がっているとのこと。

まさに、「化石化しない保全」を掲げた世界農業遺産にふさわしい地域であることがよくわかりました。



写真2 内藤氏のご講演

4. 公開講座 森田 茂氏

CPDセミナーは、阿波踊り保存協会 事務局長 森田 茂氏よりご講演を頂きました。

初めに、阿波踊りの起源と男踊りや女踊りの基本姿勢、地域文化との深いつながりを説明されたうえで、ご自身の所属される徳島県阿波踊り保存協会、また連長として活動されている阿波藍連の歴史、年間行事の様子をお示しになりました。

交流されている東京高円寺の阿波踊りが、地域の皆さんの熱意により非常に活発に行われていることをお聞きし、大変驚くとともに、阿波踊りの縁を活かした交流が、少しでも徳島の活性化に繋がらないものかと想いを巡らすきっかけとなりました。

先生の話を通じ、地域に根ざした連の1年を通じた努力、活動、喜びからその魅力が伝わってきて、とても楽しく拝聴させていただきました。



写真3 森田氏のご講演

5. 防災セミナー 湯浅 恭史氏

防災セミナーは、徳島大学環境防災研究センター講師 湯浅 恭史氏よりご講演を頂きました。

湯浅氏の講演では、まず建設業におけるBCPの現状を説明したうえで、その課題として、①大規模災害以外(中規模災害や地域特有のリスク、局地的災害等)への対応が検討されていないケースがあること、②様々な経営資源が制約を受ける大規模災害時に、どれくらい経営資源(特に人材、燃料、資機材等)を確保できるか不透明であること、③地域の同業他社、協力会社、元請け・下請けとの連携が必要であることの3点を挙げられました。

そのうえで、想定していなかった大雪の対応により実効性のあるBCPへの改革に取り組んだ、徳島県那賀町での建設業4社による相互連携体制の構築について紹介され、その連携が、災害時のみならず、平常時の人材育成等の経営改善にも活用されていることをお示しになりました。



写真4 湯浅氏のご講演

最後に、建設業BCPをどのように捉えるかにより生きた活動にすることができること、自社の

課題解決への建設業 BCP の活用方法を考えることが必要なこと、それらの取り組みが地域を守る建設業として様々な企業間連携に発展していくことを期待するとして、まとめとされました。

6. 修習技術者支援セミナー 一宮 礼人氏

修習技術者支援セミナーは、四国本部修習技術者支援委員 一宮 礼人氏よりご講演を頂きました。

技術士制度、修習課題と資質能力について説明されたうえで、修習のあり方を、ご自身の修習事例とともにわかりやすく説明されました。

修習技術者の参加者4名の方々は、特に興味深く聞いていらっしゃいました。



写真5 一宮修習技術者支援委員のご講演

7. 懇親会

セミナーの後、恒例の懇親会が開催されました。

四国本部の豊崎総務委員長の開会挨拶、谷協事業委員長の乾杯の音頭により懇親会が始まりました。2時間余りの歓談の後、四国本部 菊池会計幹事の中締めにより、懇親会も無事終了することができました。



写真6 谷協事業委員長の乾杯

8. 見学会

見学会は、阪神・淡路大震災で現れた野島断層をありのまま保存展示する、北淡震災記念公園にて行いました。28年前に発生した大災害ですが、当時地表に現れた活断層、それにより損傷を受けた民家等がそのまま保存されており、巨大地震のすさまじさ、地震に備える大切さを改めて胸に刻みました。

阪神・淡路大震災後に生まれた技術者も多いという話になり、耐震設計の大きな転換点にもなったこの大災害を風化させてはならないという気持ちを、皆で新たにしました。

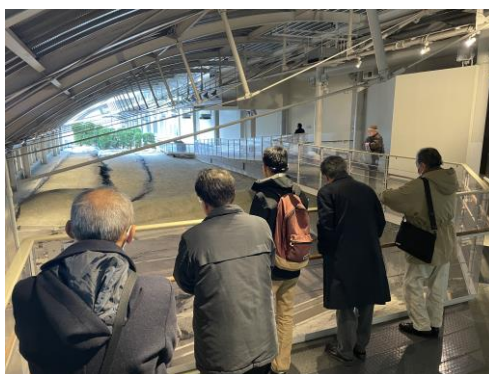


写真7 原位置に保存された野島断層



写真8 断層の断面

9. おわりに

セミナー参加者は、計54名のうち会員が41名、非会員が13名（修習技術者4名含む）でした。今回もWeb配信を行っています。

今後は、(一社)建設コンサルタンツ協会、(一社)徳島県測量設計業協会等への後援依頼や技術士会独自の広報活動を展開するとともに、セミナー内容の充実を図ることにより、出席者の確保に努めて参ります。